

事業量確保

36回総会で決意新たに



金田課長

13年度の総出荷量330万をピークに年々減少傾向にある。16年度も必要最低限の事業量の確保を促していきたい」と

と語った。総会で16年度の事業報告や収支決算報告、17年度の事業計画やその予算、理事の補充などについて審議され、いずれも全会一致で承認。新たに浅川智洋氏（浅川商事）が理事として選出され、会の終盤に来賓祝辞を述べた。

述べた金田課長は「16年度の砕石業務管理者試験では群馬県の合格率が30.8%と全国平均を上回る結果となっている。後継者不足が問題となっているなか、素晴らしい成果だと思ふ。今後も県と協会と連携し、これらの問題に立ち向かっていきたい」とあいさつした。

17年度の事業計画には管理建築士講習や建築士の定期講習、耐震診断や定期報告建築物の安全確保に関する調査研究、住宅アドバイザーによる相談、派遣を推進していくことなどを盛り込んだ。総会後は懇親会も開かれ、185人の会員らが互いに酒を酌み交わし親睦を深めた。来賓として大澤正明県知事や山本龍前橋市長らも出席しお祝いの言葉を贈った。

17年度事業には安全パトロールや各種の実習、護身術のカルチャー教室開催などを盛り込んだ。優良・永年勤続警備員表彰式では、優良警備員34人、永年勤続警備員17人が表彰。代表して国際警備の清塚由基氏が謝辞を述べた。

定時株主総会で 青柳社長を再任

群馬建設会館



青柳社長

群馬建設会館（青柳剛代表取締役社長）は24日、株主総会を前橋市内の同会館で開催した。取締役任期の満了となり、青柳社長を再任した。

青柳社長は「各所で老朽化が進み、新建設会館に向けて取り組んでいる。この会館での総会は今度が最後。課題は残っているが、皆さんの協力をお願したい」とあいさつした。



全ての議案が承認された

17年度定時総会を開催 名誉会長へ山田氏

群馬県建築士事務所協会



栗原会長



全議案が承認された

群馬県建築士事務所協会（栗原信幸会長）は25日、前橋市内のホテルラシーネ新前橋で定時総会を開いた。2016年度の事業報告や17年度の事業計画案などを審議。すべての議案が全会一致で承認された。新たに名誉

会長として山田美光元会長の選任された。冒頭、栗原会長は「昨年度は県民の安心安全な住まいづくりに微力ながら

17年度定時総会開く 川崎会長の続投決まる

群馬県警備業協会



川崎会長



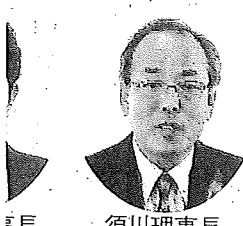
表彰も行われた

商工会議所会館で2017年度の定時総会を開催した。17年度は役員の変更期にあたり、川崎会長の続投が決まった。また、優良・永年勤続警備員表彰式も催され、計51人が表彰の栄に浴した。総会の冒頭、川崎会長を述べた。

17年度事業には安全パトロールや各種の実習、護身術のカルチャー教室開催などを盛り込んだ。優良・永年勤続警備員表彰式では、優良警備員34人、永年勤続警備員17人が表彰。代表して国際警備の清塚由基氏が謝辞を述べた。

和田新理事長が誕生

第37回通常総会を開催



須川理事長

計画案や収支予算案などのほか役員改選などを審議し、全会一致で承認された。新理事長は高崎測量（高崎市）の和田隆代